

ブックスタート事業開始から18年

# 絵本で育む親子のきずな



## ブックスタート事業とは？

7～8か月児健診などの機会に絵本を開く「楽しい体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。  
抱っここのぬくもりの中で、絵本を読んでもらう心地よさやうれしさを「すべての赤ちゃん」に届け、幸せになれるようにと願いが込められています。



## 現在、配付している本はこの2冊！



**ぴょーん**  
作・絵／まつおか たつひで  
(ポプラ社)

「かえるが…ぴょーん」「こねこが…ぴょーん」ページをめくると次々にいろいろな動物がジャンプします。くりかえしが楽しい絵本です。



**のせてのせて**  
文／松谷 みよ子 絵／東光寺 啓  
(童心社)

「じどうしゃです。はしりますよ。プーー」「のせて、のせて」子どもとくるまにのりたがる動物たちのやりとりの愛らしさがたまりません。

## 宮崎市立図書館からのお知らせ

令和2年度は各医療機関の協力を得て、市内在住の多くの赤ちゃんに絵本をお渡しすることができました。昨年度、7～8か月児健診を市外で受けたため、絵本を受け取っていない方は下記までご連絡ください。宮崎市立図書館でお渡しします。

(問)市教育委員会 生涯学習課 宮崎市立図書館 TEL52-7100 FAX52-7158



## 7～8か月児健康診査

### たかむら小児クリニックを訪ねてみました



院長 高村 一志さん  
日本小児科学会認定小児科専門医、日本小児科医会「子どもの心」相談医、日本小児アレルギー学会・日本小児循環器学会・日本小児科医会・日本外来小児科学会会員、宮崎県小児科医会会長

### 健診のときに実際に絵本を読んで見せています

当院では、7～8か月健診の後、私が実際に読み聞かせをしています。読んで見せると赤ちゃんは絵本に手を伸ばしてくるなど、反応します。それを見て、「絵本に反応した！」と感じるママやパパもいますし、いつも読んでもらっているお子さんは反応がいいので、改めて「絵本って大事なんだ」ということに気づいてもらえたらいいなと思います。

### 絵本には子どもの成長が刻まれます

子どもは絵本の内容は覚えていなくても、ママやパパと絵本の時間を過ごしたという感覚は残ると言われています。また、大きくなって本棚から絵本を取り出して開いた時に、読んでくれていたママやパパのその時の顔を思い出すと、言われています。そんな思い出を作ってあげるのはいくら大切なことです。また、絵本には紙ならではの質感があります。触った感じや、紙の厚さ、そして、子どもはよく噛み、破るのです。これは紙の本だからできることで、タブレットなどではできません。五感を育みながら楽しめるのも絵本のよいところだと思います。

## お母さんにインタビュー

### 絵本は子どもを笑顔にしてくれる魔法のオモチャです

**Q** ブックスタートの絵本プレゼントはいかがですか？

**A** 3人目なので、ブックスタートは3回目になります。一人目の時は、絵本を読み聞かせてあげようとは思っていたものの、どんな絵本がよいか分からず迷っていました。そんな時期に、ブックスタートで絵本をもらえて、ありがたいと思っただのを覚えています。「絵本の読み聞かせはいい」とよく聞きますが、実際にどんな絵本がいいかはなかなか分からないです。「ブックスタート」で、その月齢に合った絵本を教えてもらったことで、絵本を子育てに取り入れていくことができました。

**Q** 絵本を読むと子どもは喜びますか？

**A** 絵本を読むと、子どもが反応してくれます。お気に入りの絵本を読むと、機嫌が悪かったのに、



大塚絵美さん、愛莉ちゃん(7か月)

笑ってくれます。絵本は子育てをするのにも助かっています。それに、言葉を覚えるのが早いなと思いました。ずっと読み聞かせをしていると、そのうち自分で読むようになり、今では、上の子が下の子に読み聞かせをしてくれます。図書館にはいろいろな絵本があるので、利用しながら、これからも絵本を読んであげたいと思います。